

春



緑のイチリンソウ (4月 西京区)



夏

四季・彩りの森づくりだより



秋



北区)



キビタビ (4月 左京区)



北区)



熟泊いを彩る

北区)



冬



⑩オオモミジ

市内のある自生地では、ヒナウチワカエデが谷合に、コハウチワカエデが尾根あたりにあるのに対し、オオモミジは中腹に多い。樹木の積み分けを見れば、植栽に適地適木の考え方が必要であることがわかる。日本海側に多い変種ヤマモミジらしき個体も確認している。



⑧ハウチワカエデ

コハウチワカエデの葉をひと回り大きくした葉を持ち、市北部を中心にポツポツ見かける。



⑨ウリハダカエデ

市内では全域で見られ、シカの食害を受けにくいためか、明るいところで稚樹をよく見かける。



⑫イタヤカエデ

鞍馬、花脊、久多、京北等、市北部を中心に多く見られ、カエデ類の中では大木になる。



⑬コハウチワカエデ

市北部、尾根周辺で比較的多く見かける。



⑪ウリカエデ

市内では全域で見られ、道沿いや川沿いの明るいところでよく見かける。



⑨チドリノキ

山間部の谷合で岩がごろごろした斜面などで多く見られる。カエデらしくない葉を持つが、種子を見れば間違いなくカエデの仲間。

⑩イロハモミジ

京都の街を彩るカエデ類の代表種。山の谷合に多く見られ、左京区花背峠以北には少ない。



⑤エンコウカエデ

イタヤカエデの仲間、市北部を中心にポツポツ見かける。



⑥テツカエデ

桂川や安曇川にカエデ類の中では、樹形はシカの食害



平成30年11月10日、台風の影響で傷んだ葉が多すぎ、この日、京都市職員が現時点を把握している生するカエデ類の紅葉（黄葉）を集めました。テツハウチワカエデはほとんどの個体が葉を落としておカラコギカエデやイロハモミジは色づき始めの頃で



種名	市
①メグスリノキ	★★
②カシカエデ	★★
③ミツデカエデ	★★
④カラコギカエデ	★★
⑤エンコウカエデ	★★
⑥テツカエデ	★★
⑦ヒナウチワカエデ	★★
⑧コミネカエデ	★★
⑨チドリノキ	★★
⑩ハウチワカエデ	★★
⑪ウリカエデ	★★
⑫イタヤカエデ	★★
⑬コハウチワカエデ	★★
⑭ウリハダカエデ	★
⑮オオモミジ	★
⑯イロハモミジ	★

なぜ、葉っぱは色付くの？

秋になり、葉に送られていた栄養や水分がストップするとクロロフィルという緑色の色素が分解されます。

すると黄色いカロチノイド色素が目立つようになり、葉は黄色く色付きます。葉が赤色に染まるのは、壊れたクロロフィルと糖分が合わさり、アントシアニンと呼ばれる赤い色素がつくれるためです。

※ ここに掲載した京都市職員が現時点を把握している生するカエデ類の紅葉（黄葉）を集めました。今後の調査や情報も更新していきます。



市域の谷合で見られる。
大木になり、葉も大きい。
を受けていない様子。

②カジカエデ

百井のみで確認している。オ
ニモミシとも呼ばれる。稚樹は
シカの食害を受けていない様子。



⑧コミネカエデ

市北部の花脊や久多等、
種名のとおり、標高の高い
尾根（峰）で見かける。



⑦ヒナウチワカエデ

コハウチワカエデの葉をひと回り小さ
くし、切れ込みが鋭く、透き通るような
薄い葉を持つ。市北部の谷合で見かける。

かったで
市内に自
カエデや
り、一方、
した。

内レア度

★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★
★★★★★

市カ工
宣によ
のです。
り、更



①メグスリノキ

鞍馬のみで確認している。平成30年9月の
台風21号の影響で、スキの倒木が覆いかぶさ
り、大きな倒木だった1本がひん死の状態で、
京都府レッドデータブック2015では絶滅危
惧種に区分されている。葉は3枚で1セット。



③ミツデカエデ

花脊、百井、片生等、桂川や安曇川
源流域の谷合で10個体程度を確認。葉
は3枚で1セット。



④カラコギカエデ

鞍馬、修学院、松ヶ崎の谷
合で10個体程度を確認。



京都の山の彩り

春の山を彩る
ヤマザクラ



左京区

惹きつけられる赤い花
ヤマツツシ



左京区

ハート形の葉っぱ
カツラ



左京区



西京区

星型の花をつける
ツクバネウツギ

左京区

樹木と共に生ずる
キンラン



西京区

加寒い春の日に咲く
キンキマメザクラ



左京区



左京区

食用にもなる
ケンボナシ
甘く香る
ウツミスミソ

北区

猫を酔わせる木
マタタビ

右京区

カタクリの蜜を吸う
キフチョウ



西京区



西京区

春に内筒状の花をつける
マルバアオダモ

東山区



秋の訪れとともに咲く
リンドウ

左京区

葉の展開前に花が咲く
シロヒメ



西京区



西京区

ウグイスの鳴き声に咲く
ヤマウグイスカサ

左京区



西京区



湿った地面で水を飲む
ミヤマカラスアゲハ

左京区

エサを求めて谷にやってきた
ニホンリス



西京区



宝石みたいに輝く
ドロハマキチョッキリ
木登りする
アオタイショウ

左京区

西京区



旅する蝶々
アサキマダラ

左京区

裏面にギョウジのある
ヒメタテハ



面白い花を咲かせる
ウリノキ

北区



山みちの傍らに咲く
コアシサイ

可愛らしく咲く
ヤブデマリ

西京区



山みちの傍らに咲く
コアシサイ

左京区



紅葉と赤い実が美しい
ヒロハツリバナ

左京区



がけのふもとで咲く
ハナイカタ

左京区



葉の中央に花をつける
ハナイカタ

左京区



赤い実が美しい
ヤマドリタケモドキ

左京区



鮮やかな花
クサボケ

西京区



満ちた花を咲かせる
カマツカ

左京区



葉の中央に花をつける
ハナイカタ

左京区



頭がくっついてる
ヤマドリタケモドキ

西京区



ふわふわな白い花
タンナサワフタギ

左京区



一休みする
スミナガシ

左京区



秋の情景を
オオルリ

左京区



秋の情景を
オオルリ

西京区



春の訪れを告げる
ウグイス

左京区



獲物を捕らえた
オオルリ

西京区



敏感に跳ね歩く
クロツグミ

左京区



森の人気者
アカケツ

左京区



春の訪れを告げる
ウグイス

左京区



獲物を捕らえた
オオルリ

西京区



敏感に跳ね歩く
クロツグミ

左京区



森の人気者
アカケツ

左京区

ナラ枯れ被害

一見自然そのままに見える京都三山ですが、実は、柴や薪の採取等により、人の手が入ることで維持されてきました。燃料革命以降、人の手が入らなくなり、伐られなくなったナラ類が大径化したため、京都三山でナラ枯れがまん延しました。ナラ枯れにより、三山の木々が季節外れの紅葉のように赤く染まりました。

ナラ枯れ発生のメカニズム



無数に掘られた孔道 穿孔により発生したフラス

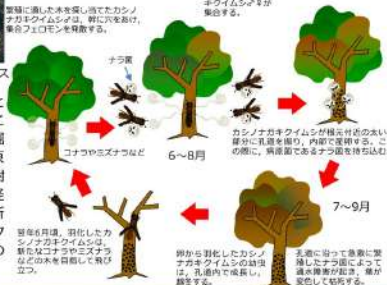


繁殖に適した木を探し当てたカシノナガキクイムシは、幹に穴を明け、集合フェロモンを分泌する。



カシノナガキクイムシ

多数のカシノナガキクイムシが集まる。



ナラ枯れは、カシノナガキクイムシという昆虫によって引き起こされます。この昆虫は、樹木に孔道（トンネル）を掘り、この中で繁殖しますが、同時に病原菌も持ち込みます。この病原菌による樹木の枯死が、ナラ枯れの正体です。大径木は、カシノナガキクイムシの繁殖場所として適しているため、カシノナガキクイムシの攻撃を受けやすく、ナラ枯れの被害を受けやすいのです。

ナラ枯れ木の処理



ナラ枯れ木のくん蒸

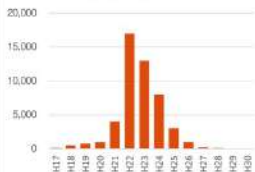


処理済みのナラ枯れ木



ナラ枯れ枯死木の搬出

ナラ枯れ発生本数



さらなるナラ枯れのまん延を防ぐため、ナラ枯れ木を伐倒して玉切りした後、梱包して薬剤でくん蒸し、中にあるカシノナガキクイムシを処理します。

また、道路沿いや民家裏などのナラ枯れ木は、折れて、あるいは倒れて落下する危険性があるため、優先的に伐採し、必要に応じてクレーン等により搬出します。

市内のナラ枯れは、平成22年度をピークに収束へと向かっていますが、ナラ枯れ跡地の復旧という課題も残されています。

シカによる食害

シカ（ニホンジカ）は繁殖力が強く、近年、国内での増加が顕著であり、増え過ぎたシカは森林の生態系に大きな被害を与えています。京都市内においても、シカによる食害は深刻です。



シカの食害を受けるナラ枯れ跡地の森林再生が課題です

シカが森の再生を阻む

食害を受けて裸地化した山林



ヒノキの針葉への食害

ナラ枯れ跡地等では、通常、周囲の樹木から種子が供給され、これが次世代の森林を形作ります。しかし、増え過ぎたシカにより、次世代の樹木の芽がごとごとく食い尽くされ、裸地化する箇所さえ出てきました。このような裸地は、防災の面からも、景観の面からも好ましくありません。



シカの嗜好性

シカが生息している地域では、シカが好む植物が食べ尽くされ、残された数種の植物だけで森が形作られます。このような森は、植生が単純なため生息できる動物等の種類も少なく、生物多様性が極めて低くなります。

シカが嫌う植物の例



ジャケツイバラ



イヌガシ



アセビ



イズセンリョウ



ナンキンハゼ



シキミ



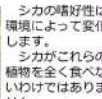
樹皮を食べられたキハダ



イワヒメワラビ



ダンドロボク



シカの嗜好性は環境によって変化します。シカがこれらの植物を全く食べないわけではありません。

一方で、シカは食べ物が不足すると、本来食用に適さない有毒な植物や樹皮まで食べます。樹皮を食害された樹木は、枯死することもあります。

健全な森を再生させるためには、植生をシカから保護したり、シカの個体数を減らす等の対策が必要になります。いずれの手法も、継続的に取り組み続ける必要があります。

シカの食害を受けたナラ枯れ跡地では、森林の更新が進まず、土壌の流出等の災害の危険性が増すだけでなく、景観の悪化、生物多様性の劣化等、森林の有する多面的機能が低下しています。

京都市では、平成23年度から、多様な樹木がしっかりと根付き、四季の彩りを感じられる美しい森林の再生を目標に、森づくりを進めています。

四季・彩りの森づくりの流れ

- ① ナラ枯れ跡地における植生や土壌等の現況調査
- ② 現況調査結果に基づく森林の目標像の設定
【森林の目標像の例】
 - ・イロハモミジを中心とした針広混交林
 - ・シデ類が優占する落葉広葉樹林 等
- ③ 設定した森林の目標像を目指した植栽設計
- ④ 植栽設計に基づく森づくりの実施

四季・彩りの森づくりの施業例

左京区一乗寺のナラ枯れ跡地



不用木を除去した後、表土の流出を防止するためネットを敷設するとともに、植栽した樹木を単木柵により保護しています。

四季・彩りの森づくりのイメージ





平成30年9月の台風21号で生じた倒木により、四季・彩りの森づくり
施業地においても、防鹿柵の倒壊等、多大な被害が発生しました。



シカの食害が発生する前に、倒木を処理し、防鹿柵を復旧しました。施業地を適切に維持管理していくことも、森づくりにおいて重要です。

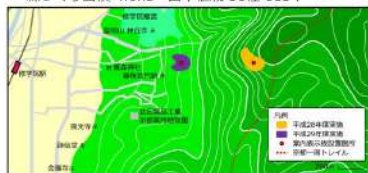
森づくりの実績

京都市がこれまでに実施してきた森づくりの実績です。左京区鹿ヶ谷における施業は概ね完了し、平成28年度からは、左京区一乗寺・修学院地域での森づくりに取り組んでいます。

平成23年度～平成27年度 左京区鹿ヶ谷
森づくり面積 14.0ha 苗木植栽 64種 4,241本



平成28,29年度 左京区一乗寺・修学院
森づくり面積 4.0ha 苗木植栽 36種 615本



これまで植栽した樹種 (計69種 4,856本)
 アオハダ、アカガシ、アカシデ、アカマツ、アブラチャン、アベマキ、アラカシ、イチイガシ、イヌシデ、イロハモミジ、ウツギ、ウメモドキ、ウラジロノキ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、ウツミズザクラ、エゴノキ、エドヒガン、オオモミジ、オトコヨウソメ、カスミザクラ、カツラ、カマズミ、カマツカ、クマノミズキ、クリ、ケヤキ、コナラ、コバノカマズミ、コバノネリコ、コバノミツバツツシ、コブシ、コマユミ、サイフリボク、サワフタギ、シラカシ、タニウツギ、タブノキ、タマミズキ、タムシバ、ダンコウバイ、ツカ、ツクバネウツギ、ツクバネガシ、トチノキ、ナツハゼ、ナナカマド、ノリウツギ、ヒノキ、マルバアオダモ、ミヤマカマズミ、ムクノキ、ムラサキシキブ、メグスリノキ、モチツツシ、モチノキ、モッコク、モミ、ヤシバシ、ヤブツバキ、ヤブムラサキ、ヤマウグイスカグラ、ヤマコウバシ、ヤマザクラ、ヤマツツシ、ヤマハギ、ヤマハゼ、ヤマボウシ、リュウブ



西行・頓阿などの事思ひ出られけるに
かたへなる流れを菊の谷といふと聞きて

古の人に契りを結びみち 住みける跡ときくの谷水
一本居 宮長一
(亡くなる享和元年(1801年)の歌)



台風による倒木の合間に顔を出す
キクタニギク(平成30年11月上旬)

ナラ枯れやシカの食害による森林荒廃と同時に、森林植生の変化も進んでいます。

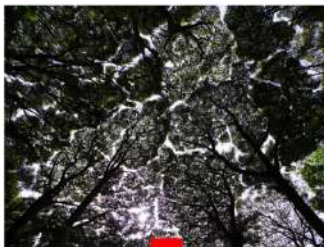
京都市の市街地周辺の森林は、人々が生活に必要な柴や薪等の森林資源を利用するために木々を伐採することで、維持されてきました。

しかし、1950年頃に電気やガスが普及すると森林資源の利用が少なくなり、森林は放置され、常緑高木のシイが優占する森林が増加しました。シイが増加すると、広がった樹冠により光を遮られ、暗く鬱蒼とした森林となります。

平成19年12月に、希薄となった人と森林の関係を再構築するべく、地域、寺院、企業、行政(林野庁、京都市)等が協力して京都伝統文化の森推進協議会(事務局：京都市産業観光局農林振興室林業振興課)が設立されました。当協議会では、清水寺や青蓮院門跡の借景となる高台寺山国有林を中心に、増加しすぎたシイ林の林相改善に取り組んでいます。

平成28年度からは、菊溪(東山区)において、光を遮るシイ等の高木だけではなく、ナラ枯れ木も伐採しました。明るくなった森に、森づくりの象徴として、かつて自生していたキクタニギクを植栽しています。

本市は、この取組に対し、京都みどりプロジェクト協賛企業の皆様の御協力を得ながら、支援を行っています。



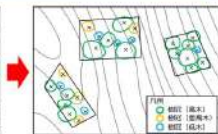
京都伝統文化の森推進協議会が進めるシイ林の林相改善

四季・彩りの森づくりは、先人と自然の知恵に学ぶ技術が求められます。重視すべき公益的価値、将来の樹冠、日当たり、土質、植栽する樹種の特性等、考慮しなければならない要素は多岐にわたります。今、その全てを適切に判断できる技術者の育成が求められています。

森づくりの設計要素：樹冠の変遷



植栽設計図



数年後の予想樹冠図



将来予想樹冠図

植栽した木々は、将来、大きく枝を広げ、葉を茂らせます。その枝葉の下は日陰となってしまうため、そういう場を好む樹木が生育します。また、樹種によって生育の早さや寿命も異なるため、植栽した樹木のすべてが将来も生き残るわけではありません。植栽する際には、年後、年後の樹形や形成される森の姿を想像し、樹木が健全に生育できるよう、植栽位置・植栽樹種を設計しなければなりません。

森づくりの設計要素：土壌の堆積区分



土壌は、①残積土（動いてない土）、②崩積土（動いた土）、③搬运土に大きく分けられます。残積土はよく締まって微生物が繁殖しにくく、逆に崩積土は柔らかく微生物が繁殖しやすく、搬运土はこれらが組み合わされています。それぞれの土質により、生育しやすい樹種が異なります。

森づくりの設計要素：樹種の選択

種名(科名)	落葉	適応遷移	樹高	根の張り方	利用する光の強弱	樹形	要求する水分
ムラサキシキブ (クマツヅラ科)	黄葉	先駆	低木		中		中
ハゼノキ (ウルシ科)	紅葉	先駆	亜高木	浅根	中	自形	中
ナツハゼ (ツツジ科)	紅葉	中期	低木	浅根	中		小
ヤマザクラ (バラ科)	紅葉	中期	高木	浅根	強	自形	中
ヒノキ (ヒノキ科)	常緑	中期	高木	浅根		自形	小
スギ (スギ科)	常緑	中期	高木	深根		自形	大
イロハモミジ (ムクロジ科)	紅葉	中期	高木	浅根	中	他形	中
クヤキ (ニレ科)	紅葉	中期	高木	深根	中	自形	中
ホオノキ (モクレン科)		中期	高木	深根	弱	自形	大
モミ (マツ科)	常緑	後期	高木	浅根	中	自形	中
アカシデ (カバノキ科)	紅葉	後期	高木	深根	強	他形	小

土壌の区分以外にも、樹木それぞれが好む生育環境は様々です。これらの生育条件や目指すべき森林の将来像を想像しながら、「適地適木」の考えに基づき、公益的価値の高い森が形作られるよう、植栽する樹種を決定します。

四季・彩りの森づくり研修会

京都市は、京都の森づくりを担う技術者を育成するため、基礎知識の講義、現地調査、植栽設計の提案、現地での森づくりの実践を通して、森づくりに必要な技術を学ぶ「四季・彩りの森づくり研修会」を開催しました。林業家や造園家、樹木医、行政の担当者など、幅広い職業の方に御参加いただきました。



講習会で基礎知識を学んだ後、現地調査を行います。どんな観点で現場を把握するか、現場で何を詳細に見るべきかを知ることが、技術者としての第一歩になります。



7つの班に分かれ、それぞれが担当する箇所の植栽設計を行います。現地において調査した土地の凹凸、土質、既存の植生等、様々な要素を勘案しながら、適地適木の植栽配置を考え、未来の森をデザインします。それぞれの班が設計を発表し、講評を経てさらなるブラッシュアップをかけます。



それぞれの植栽設計をもとに、現場で施業を行います。植栽した樹木をシカの食害から守る防鹿柵を設置し、苗木を植栽します。森づくりの技術を学ぶ研修であると同時に、未来の森をつくる場でもあります。

森づくりや緑化に使う苗木は、遺伝子の交雑を防ぎ、地域固有の自然を守るために、地域に自生する樹木の種子から育成した「地域性苗木」を使うことが大切です。

このため、京都市では、平成22年度から京都固有の地域性苗木の生産及び供給ができる体制整備を進め、平成24年5月に、農林業や造園業に関わる方々を中心とする「京の苗木生産協議会」を設立しました。

京の苗木生産協議会は、平成25年度から「京の苗木」12種の販売を開始し、平成31年1月から、新たな樹種として、たなびく白雲のように小花を通ねるハクワンボク、透きとおるような白い花で染まるウツギなどを追加し、計70種を販売しています。

黄緑色く色付くズミ（キミズミ）の実

左京区の八丁平澄原にも、実が黄緑色く色付くズミがあります。このキミズミの実が、赤く色付くズミの花が、散った頃に満開でした。同じ種でも個体差がある、わかりやすい例です。遺伝子の多様性を守るために、同じ種であっても、採種は多くの個体から行います。

平成28年5月24日
キミズミの花は黄開



ハクワンボク



種子採取の様子



サイフリホクの実



播種



ズミの実

平成28年5月24日
すべて散っていた
ズミの花



チドリノキの発芽



出荷前の苗木

チドリノキ



ハナチワカエデ



ヤマボウシの苗の育成



ヒナウチワカエデ

京の苗木生産協議会

事務局 公益財団法人京都市森林文化
所在地 京都市左京区花脊八軒町25
電話 075-746-0439
FAX 075-746-0134
Eメール hanase-k@dobanzy.com
休日 火曜日及び年末年始
※ 火曜日が祝日の場合は翌日

※表の青文字
は写真で紹介
する樹木



ウツギ

採取したアオハダの種子

サイフリボク



果実から種子の取り出し



アズキナシ



氏名	氏名	氏名	樹形	樹高 (cm)	在圃
1 アサギ	エノキ	エノキ	直幹樹木	~100	50cm以上
2 ムクゲイ	ムクゲイ	ムクゲイ	直幹樹木	~80	100cm以上
3 アサギ	アサギ	アサギ	直幹樹木	~80	100cm以上
4 アサギ	アサギ	アサギ	直幹樹木	~60	100cm以上
5 ウツギ	ウツギ	ウツギ	直幹樹木	~60	100cm以上
6 ウツギ	ウツギ	ウツギ	直幹樹木	~60	100cm以上
7 ウツギ	ウツギ	ウツギ	直幹樹木	~60	100cm以上
8 エノキ	エノキ	エノキ	直幹樹木	~60	100cm以上
9 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
10 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
11 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
12 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
13 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
14 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
15 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
16 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
17 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
18 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
19 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
20 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
21 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
22 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
23 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
24 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
25 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
26 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
27 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
28 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
29 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
30 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
31 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
32 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
33 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
34 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
35 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
36 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
37 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
38 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
39 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
40 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
41 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
42 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
43 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
44 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
45 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
46 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
47 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
48 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
49 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
50 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
51 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
52 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
53 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
54 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
55 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
56 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
57 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
58 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
59 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
60 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
61 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
62 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
63 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
64 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
65 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
66 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
67 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
68 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
69 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上
70 カシノ	カシノ	カシノ	直幹樹木	~60	100cm以上

倒木跡地の森林再生にも「京の苗木」を使ってみよう

京都みどりプロジェクト

京都市では、企業・団体、市民の皆様とともに美しい京都三山の森をナラ枯れから守るため、平成23年度に「京都みどりプロジェクト」を創設しました。

街に、人々の暮らしに、みどりを取り戻す取組を進めています。



協働による植栽活動(平成26年度)

京都みどりプロジェクトの仕組



企業・団体

市民・観光客

これまで、12の企業・団体や個人からいただいた約2千5百万円もの寄付は、四季・彩りの森づくりの推進や、植栽する苗木及び防鹿柵等の資材購入に活用しました。

また、平成24年度からは、企業・団体、市民の皆様との協働による植栽活動を実施しています。

金を含む

金①

金付

金②

金③

京都市



徐々に美しい森が再生しつつあります

京都みどりプロジェクト協賛企業等

日本たばこ産業株式会社、京都信用金庫、京都洛東ロータリークラブ、
京阪ホールディングス株式会社、株式会社タイエー、
京都環境事業協同組合、小坂産業株式会社、
京都府旅館ホテル生活衛生同業組合、西山環境サービス株式会社、
フロムメンテナンス有限公司、有限会社西山産業、
京都アシュタンゴヨガギザリング、個人協賛者

年のリノビタキカラーに植



京都市印刷物 第303290号 平成31年3月発行

京都市産業観光局農林振興室林業振興課

商工部商業振興課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御地上る上木能寺前町488番地

電話：075-222-3346

手帳にのりば

